

菊池保育園 R7年度安全管理計画

◎安全点検

(1) 施設・設備・園外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
重点点検箇所	ベビーカー・避難車 園内遊具安全点検	園内遊具点検	園内遊具点検	園内遊具点検	園内遊具点検	災害用備品確認
	各クラス避難経路確認 消防設備点検	大刀洗公園までの 経路確認	小学校までの 経路確認	プール及び周辺環境 安全点検	西太刀洗駅までの 経路確認	山隈駅までの経路 確認
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
重点点検箇所	消防設備点検 緊急連絡先再確認 老松神社までの 経路確認	園内遊具点検 園外保育経路確認	園内遊具点検	園内遊具点検	園内遊具点検 業者点検 園外保育経路確認	園内遊具点検 園周辺工事箇所の 確認

◎児童・保護者に対する安全指導

(1) 児童への安全指導（園生活における安全・災害発生時の対応・交通安全等）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
未満児	交通安全・火事	災害発生時の対応・防災	誘拐・迷子	事故防止
使用教材 (紙芝居)	①バスくんとのおやくそく ②ワンタのおさんぽ ③もえもえマン ④かじおばけモクモク ⑤できるかな？ かじのひなんくんれん	①ありんこチップがながされる ②いたずらだいこんとぶんぶんはち ③ねずみくんとかばくんの水あそび ④じしんがきたときどうするの ⑤できるかな？ じしんのひなんくんれん	①ひとりになっちゃダメですよ ②まいごのトコちゃん	①まもってあそぼうね ②キッキ きをつけてだいどころ
以上児	交通安全・火事	災害発生時の対応・防災	誘拐・迷子	事故防止
使用教材 (紙芝居)	①もぐらおじさんごめんね ②かちかちかじようじん ③バピンとチロルのさかなつり ④みんなでひなんくんれん ⑤たきびかいじゅうきえとくれ ⑥ねぼすけチュータとおじさん ⑦あぶないねひこうきのきょうそう ⑧しましまとびかびかっ	①たいふうがくるぞ ②かみなりとぼうやとまりのなかま ③たいふうがきた！	①知らないおじさん ②おまじないはなあに ③ひやっとさんにんぐみ	①かみなりごろすけのしっぱい ②おっとあぶない ③コンキチのゆびきりげんまん
重点指導内容	お散歩時の歩き方	水あそび時の事故防止について	不審者対応	部屋の中の危険なものについて

(2) 保護者への共有

月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
内容	・あんしんメールの送信について ・加入や進級処理の確認 ・ほけんだより	・自然災害警報発令時の臨時休園の対応基準 ・ほけんだより	・感染症の登園基準 ・ほけんだより	・ほけんだより （園での取組内容報告）

◎訓練・職員研修

(1) 訓練のテーマ・取組

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
訓練内容	避難訓練の話	避難訓練説明と実施	不審者対応訓練 消火避難訓練	風水害への備え 消火避難訓練	地震対応訓練 消火避難訓練	消火避難訓練
	食物アレルギー・ アナフィラキシー対応 エピペン練習	誤嚥時の対応 けいれん対応	プール活動の安全対策 確認	AED心配蘇生法 119番通報 不適切保育防止研修	非常時災害対応	気道内異物除去対応 食中毒の予防まん延 防止
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訓練内容	消火避難訓練 (ふれあい消防訓練)	消火避難訓練	消火避難訓練 地震対応訓練	消火避難訓練	不審者対応訓練 消火避難訓練	消火避難訓練
	園外活動時の安全管理 について	不審者対応	嘔吐下痢の汚物取扱	保育室の環境設定 (事故予防面)	SIDSについて	虐待の疑いがある場合の 対応

(2) 訓練の対象者（全員参加をのぞく）

訓練	内容	参加予定者
6月	・発熱時対応・嘔吐下痢処理セット確認・次亜塩素水の作り方のおさらい	全クラス
9月	誤嚥時の対応・エピペン使用法	乳児クラス担当
1月	保育室の環境設定（事故予防）	乳児クラス担当
2月	SIDS対応	乳児クラス担当

◎再発防止策の徹底方法

- ・毎月クラス毎のヒヤリハットを職員会で報告。分析及び再発防止対策の共有を図る

◎その他安全確保に向けた取組

- ・毎朝9：00時点で登園しておらず家庭からの連絡もない子に対し、担任より保護者へ出欠確認の電話をいれること

(3) 職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目処にかかわらずメモする

4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
	(株)サニクリーン AED講習会		

令和6年度 看護師による講習会実施記録

計画	内容	対象クラス	実施日	反省
誤嚥時の対応	給食時に誤嚥したという設定で、シミュレーションを行う。発見者保育者A・保育士B・保育士Cと具体的に動けるように設定し、発見者保育士は誤嚥した児童から目を離さないと同時に救急車・保護者・事務室への連絡・応援要請・他の児童の安全確保に努める。背部叩打法・胸部突き上げ法をぬいぐるみを使用し練習を行った。	0.1.2クラス	6/13 6/26 6/25 6/18	毎年誤嚥のニュースは見られるので定期的に講習会を行う必要を感じた。受講した保育士からも定期的の実施してほしいとの声が聞かれた。毎年受講しているAED講習時に消防署の講習もあった方がいいとの意見もあるが、消防署開催のものは時間が長く子どもから目を離すことを考えると現実的ではないのが課題。
熱性けいれんの対応	熱性けいれんの既往がある園児には台帳・けいれんチェックリストマニュアルがファイリングされておりそれを資料として使用。ABCの保育士の役割の中声かけをしながら連携を取る。慌てずに必要に応じて各所へ連絡をとること。救急→保護者→事務所への優先順位を再度確認。	0.1.2クラス	9/27 9/20 9/19	熱性けいれんは実際によく起こりうることであるため、既往があったり発熱の園児には注意して観察することや、それ以前の体調を知ることで予測することができる。経過観察の目安・最初に保護者への連絡する間に救急車を要請する可能性があることは伝えてよいのではないかと意見があがった。
嘔吐時の対応	嘔吐セットの場所の確認。園全体・分園と本園・各クラスでの流行性の嘔吐の場合はウイルス性が疑われるため次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を推奨する。嘔吐処理用の使い捨ての布を常備していることを伝え、新聞紙やペーパータオル・使い捨ての布のそれぞれの利点を説明した。	0.1.3クラス	2/7 2/5 2/6 2/4	繰り返し講習することで次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効ということが浸透していると感じる。特に突然の嘔吐になどすぐに対応できるよう流行時には次亜水を作り置きしておくことなど日常の中で取り組みやすい案も出てよかったと感じた。